



宝塚歌劇 110 周年
宝塚市制 70 周年
手塚治虫記念館 30 周年



参加費
無料

第26回身体障害者補助犬シンポジウム

予約不要

体験しよう介助犬

2024年**11月10日**(日)

第1部: 14時00分～14時55分

第2部: 15時00分～16時00分

【会場】ソリオ宝塚・GF メインフラザ



手話
通訳
あり



PR犬 アリシア

介助犬デモン
ストレーション

介助犬の
介助作業体験
(各回4人)

ほじょ犬バッチが
もらえる**クイズ**も
あるよ。

先着

50人



介助犬新聞

子どもたちの
発表・感想

介助犬・PR犬
とのふれあい
質問もOK!

介助犬 エクラ

※介助犬新聞の配布や介助犬の写真展示もあります

主 催 身体障害者補助犬シンポジウム実行委員会
(宝塚市、宝塚市教育委員会、NPO法人 兵庫介助犬協会)

後 援 毎日新聞阪神支局

問合せ 宝塚市役所障碍(がい)福祉課 TEL.0797-77-2077

この事業は、公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団「シンシア基金」の助成を受けています。

身体障害者補助犬シンポジウム

1996年にシンシアは国内3頭目の介助犬となり、宝塚市で車椅子生活を送る木村佳友さんの生活をサポートしていました。

しかし、介助犬はペット扱いで、電車や飲食店等でシンシアの同伴を拒否されました。

「この現状を何とかしたい」と、1998年から介助犬支援のキャンペーン報道を続けてきた毎日新聞と、「シンシアのまち」を宣言して、介助犬の受け入れを進めていた宝塚市が、1999年に第1回の『介助犬シンポジウム』を開催しました。

その後、2002年に介助犬等の同伴を認める身体障害者補助犬法が成立し、名称を『身体障害者補助犬シンポジウム』と変更し

開催しており、今年が第26回になります。

しかし、法成立から20年以上が経っても補助犬の認知が進まず、補助犬同伴の受入れ拒否がなくなっていない。

すべての人にやさしい社会にするため、私たちに何ができるのかを考え、実践していく機会にできればと願っています。

身体障害者補助犬シンポジウム実行委員会

【補助犬基礎知識】

◆介助犬は、手足の不自由な人の生活をサポートするように訓練された犬です。

◆身体障害者補助犬(補助犬)は、盲導犬、介助犬、聴導犬の総称です。



JR宝塚駅のシンシア像

プログラム

① 介助犬新聞(宝塚こどもイネ新聞)の発表

(担当)宝塚こども応援プロジェクト

市内の子どもたちが、兵庫介助犬協会や介助犬使用者の木村さん宅を訪れ、介助犬について調べ、『介助犬新聞』を作ってくれました。

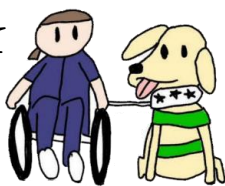
子どもたちが、調べたことや感想を発表してくれます。

② 介助犬デモンストレーション/介助作業体験

(担当)NPO法人 兵庫介助犬協会

PR犬が、硬貨を拾ったり、スマホを持ってくるなど、介助作業を実演してくれます。

その場で、体験希望者(各回4人)を募り、介助作業を体験していただきます。



③ 介助犬・PR犬とのふれあい

介助犬やPR犬と触れ合ってください。

介助犬に関する質問なども、お気軽にお尋ねください。

ただし、街で補助犬を見かけた時は、触ったりせずやさしく見守っていただくようお願いいたします。

ソリオ宝塚・GF(グランドフロア) メインプラザ

宝塚市栄町2-1-1・ソリオ1

■JR・阪急「宝塚駅」下車スグ

14時 開会・主催者代表あいさつ
山崎 晴恵(宝塚市長)

【第1部】

14時5分～

①介助犬新聞の発表

14時15分～

②介助犬デモンストレーション

14時45分～

③介助犬・PR犬とのふれあい

【第2部】

15時～

①介助犬新聞の発表

15時10分～

②介助犬デモンストレーション

15時40分～

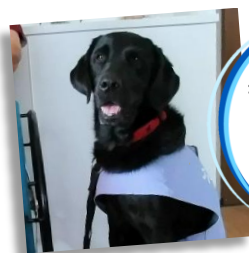
③介助犬・PR犬とのふれあい

15時55分～ 閉会あいさつ
木村 佳友(宝塚市大使)

16時 閉会

◇アリシア メス6歳
PR犬

◇エクラ メス6歳
木村さんの
4代目介助犬



参加予定の
介助犬
PR犬



◇ココス メス6歳
PR犬

※介助犬のイラストは、新聞を作成してくれた子どもたちが描いた作品です